

2026年度
八戸学院大学
健康医療学部 看護学科
テーマ2

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かない。
- 2 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用する。
- 3 問題冊子に印刷不鮮明、ページの落丁などがあるときは、手を挙げて監督者に伝える。
- 4 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
- 5 問題冊子は持ち帰ってよい。

増加する認知症の人への支援

下記の文章を読んで、認知症の人へのかかわり方についてのあなたの考えを 600～800 字で書きなさい。

認知症の人は 2025 年に全国で 471 万人、60 年には 645 万人に上るとの推計を政府が公表した＝グラフ。超高齢社会を迎えて認知症の人が増えても、それぞれが住み慣れた地域で、安心して暮らせるような社会の仕組みづくりを急がねばならない。

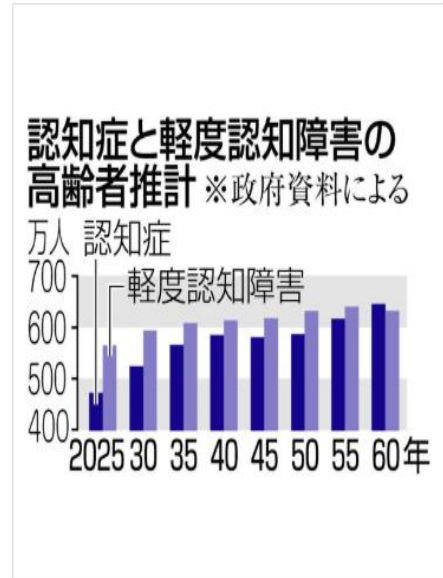
15 年に公表された前回推計に比べて 25 年、60 年ともに認知症の人は約 200 万人減ったが、今回初めて公表された認知症の前段階に当たる軽度認知障害（MCI）の推計は 60 年に 632 万人に上る。MCI と認知症の合計は 1300 万人に迫り、高齢者のおよそ 3 人に 1 人が認知機能に障害がある計算になる。

認知症の人が前回推計より減少したのは認知症の発症リスクとの関連が指摘される喫煙率の減少や食生活改善、生活習慣病の予防意識の高まりなどが考えられる。

MCI の人も生活習慣の改善である程度、正常に戻る可能性があると考えられる。改善効果を検証・周知して認知症予防に役立てたい。

長寿化に伴い、高齢者に占める認知症の人の割合は上昇し、1 人暮らしの高齢者も増える。こうした高齢者の暮らしを支えるには、介護保険制度の財源と介護人材の確保に知恵を絞り、持続可能なものにするだけでなく、医療をはじめとする幅広い分野での支援が必要となる。

<以下、略>



出典：東京新聞 2024 年 5 月 11 日

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/326482>